

焼津市水道事業中期経営計画

(平成 27 年度から平成 31 年度まで)

中 間 報 告

平成 29 年 12 月

焼津市水道部水道総務課

【 計画策定とこれまでの経過 】

平成27年3月に策定した焼津市水道事業中期経営計画（計画期間：平成27年度～平成31年度）について、平成27年度及び平成28年度の決算に基づき次のとおり中間報告いたします。

水道事業は、独立採算により経営を行う公営企業であると同時に、水道利用者に安心・安全な水を安定的に供給する義務があります。本計画は、第5次焼津市総合計画に掲げられた「安全な水の安定供給」を実現するための運営指針である焼津市水道事業ビジョンの目標を基に事業運営を行っているものであり、第6次焼津市総合計画に移行する中で、今後もより一層、効率的な運営を行い経営基盤の強化を図る必要があります。

近年の節水意識の高揚、節水機器の普及等により水需要が伸び悩む一方で、老朽化が進む施設や水源、管路の更新や予想される東海地震等による災害対策の充実等の必要性が高まっていることから、引き続き企業経営を意識した事業運営により健全性を維持し、安心・安全な水を安定的に供給できるよう、将来の水需要に基づいて計画的に施設更新を行ってまいります。

【 事業計画及び実績 】

1 業務状況（水需要予測）

項 目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
行政人口（人）	計画	142,874	142,287	141,699	141,112	140,524
	決算	141,610	140,861	—	—	—
給水人口（人）	計画	141,948	141,433	140,849	140,265	139,681
	決算	140,684	140,016	—	—	—
普及率（％）	計画	99.4％	99.4％	99.4％	99.4％	99.4％
	決算	99.4％	99.4％	—	—	—
一日平均給水量（m ³ ）	計画	56,967	56,808	56,512	56,216	55,708
	決算	57,460	55,967	—	—	—
一日最大給水量（m ³ ）	計画	65,660	65,610	65,180	64,640	64,220
	決算	67,916	65,306	—	—	—
年間給水量（m ³ ）	計画	20,850,000	20,735,000	20,627,000	20,519,000	20,389,000
	決算	21,030,179	20,427,991	—	—	—
年間有収水量（m ³ ）	計画	19,000,000	18,931,000	18,853,000	18,775,000	18,697,000
	決算	19,149,938	18,979,801	—	—	—
有収率（％）	計画	91.1％	91.3％	91.4％	91.5％	91.7％
	決算	91.1％	92.9％	—	—	—

2 主要施策

(1) 安全でおいしい水の安定供給

ア 水源の計画的な更新による取水量の確保

将来の水需要予測を踏まえた取水計画に基づき、平成27年度に祢宜島9号及び中新田8号さく井工事、平成28年度に祢宜島12号及び中新田11号さく井工事を行い、祢宜島系水源2井、中新田系水源2井の更新を行いました。その結果、水源35箇所に対し20箇所の更新が終了し、更新率57.1%となりました。

イ 計画的な管路の更新

老朽化した基幹管路・配水支管の計画的な更新を行い、平成27年度に9,307m、平成28年度に8,795mを実施しました。その結果、配水管総延長886.7kmに対し、管路耐震化率16.4%となりました。

また、他事業関連区域に残存している石綿セメント管について、対象延長3,871mに対し、2か年で1,716mを更新し、残延長2,155m（残存率55.7%）と減少しています。引き続き当該事業の進捗に合わせて更新を行います。

ウ 老朽施設の更新

管路を除く水道施設について、平成27年度に元小浜調整池更新工事、平成28年度に高崎第一調整池整備工事を実施し、老朽化した2つの調整池を更新しました。また、日常の点検や定期的な診断と修繕により、設備の長寿命化に努めております。

(2) 災害に強い水道の確立

ア 管路の耐震化

防災対策の強化推進を図るため、平成27年度から中新田系配水場内より北に伸びる中新田系基幹管路更新工事を行い、同配水場から大住まで2,880.2mが完成しました。

また、導水管については、平成27年度に408.8m、平成28年度に446.4mを実施し、平成28年度までに基幹管路4,214mの更新工事を行い、基幹管路の耐震化率は23.6%となりました。

イ 危機管理体制の確立

焼津市水道事業災害応急計画及び各マニュアルの見直しを行い、改訂しました。

また、実践に即した防災訓練を定期的にも実施するとともに、給水車1台の更新を始め、応急給水活動等が迅速に実施できるよう、資機材を整備しました。

(3) 経営の健全性の確保

ア 財政計画の推進

中期経営計画について、年度終了後にフォローアップ会議を開催し、計画の進捗管理を行っており、進捗状況に応じて次年度の予算に反映させております。

また、企業債については、平成27年度に計画以上の当年度純利益が確保できたことから、平成28年度においては4億円の借入れを計画していたところ、3億5千万円の借入れとし企業債残高の抑制に努めました。

大井川広域水道企業団からの受水費に関しては、同企業団の経営対策会議等に参加し、事業内容のチェックや今後の経営計画等について積極的に関与しました。なお、平成28年度には経営対策会議等において料金改定に関する協議検討を行い、同企業団の議会定例会の議決を経て、平成29年度から受水費が低減されております。

イ 業務の効率化

関連する委託業務について、一括で発注するなど、業務の効率化を図りました。

また、平成28年度に契約した水道料金検針収納業務委託（平成29年度～平成33年度）においては、発注時に委託業務内容の見直しを行い、委託可能な業務を加えることで、業務のスリム化を行い、コスト削減につなげました。

なお、平成28年度においては、電力自由化を受けて、電力供給方法の見直しを行った結果、動力費等に係る電気料金を削減しました。

ウ 有収率の向上

計画的な漏水調査の実施により、早期に漏水箇所を発見し、有収率の向上に努めました。引き続き、配水・給水管の漏水調査の実施、老朽管の更新事業を計画的に行うことにより、高水準の有収率を維持していきます。

また、配水管更新時や給水管漏水修繕時に合わせて、経年により漏水の原因となる鉛製給水管の取替えを行いました。さらに、各種広報を通じて、建物増改築などにおける鉛製給水管の取替えを促進しました。

(4) お客様サービスの充実

ア 広報・広聴活動の充実

広報やいづ及び水道事業ホームページに、災害対策、水道水の水質、工事情報、給水装置の適正管理などの情報及び経営状態等を定期的に掲載し、情報提供を行いました。

水道事業ホームページについては、市民に分かり易い内容となるよう工夫するとともに、随時、見直しをかけております。

また、夏休み親子施設見学会や小学校の施設見学などにおいて、水の大切さ、焼津市のおいしい水についてPR活動を行いました。

イ 給水サービスの充実

直結給水（水圧や要件が整う三階建てや高層共同住宅）について、給水申込や相談の際に指導、推進してきました。

給水装置の維持管理や建物増改築時の給水資料として、お客様に給水装置工事の竣工図の提供を行う等、給水相談やお客様サービスを改善しました。

ウ 水道料金お支払い方法の拡充

収納対策の向上として、コンビニエンスストアでの水道料金の納付について、調査・研究を進めました。その結果、平成30年1月から開始を予定しております。

3 設備投資実績及び今後計画

平成27年度及び平成28年度は、次のとおり事業を実施しました。

年 度		平成27年度	平成28年度
水源施設関連事業		祢宜島9号水源さく井工事 中新田8号水源さく井工事 祢宜島4号水源ポンプ工事	祢宜島12号水源さく井工事 中新田11号水源さく井工事
配水場関連事業	祢宜島配水場	—	—
	中新田配水場	場内整備工事	—
	調整池 他	元小浜調整池更新工事 花沢ポンプ所No.1・2取替工事	高崎第一調整池整備工事
管布設事業	配水支管	配水支管更新工事 L=5,367m 他事業関連に伴う更新工事 L=2,221.7m	配水支管更新工事 L=3,425.4m 他事業関連に伴う更新工事 L=2,874.5m
	基幹管路	基幹管路更新（配水管）工事 L=1,309.6m 基幹管路更新（導送水管）工事 L=408.8m	基幹管路更新（配水管）工事 L=2,049.2m 基幹管路更新（導送水管）工事 L=446.4m

平成29年度から平成31年度までにおいては、次のとおり事業を計画しています。

年 度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
水源施設関連事業		中新田10号水源さく井工事 祢宜島11号水源ポンプ工事	中新田12号水源さく井工事 祢宜島8号ポンプ工事 上泉5号水源ポンプ工事	中新田17号水源さく井工事
配水場関連事業	祢宜島配水場	—	管理棟 電気・機械設備更新工事	—
	中新田配水場	—	—	—
	調整池 他	—	—	—
管敷設事業	配水支管	配水支管更新工事 新設工事 他事業関連に伴う更新工事	配水支管更新工事 新設工事 他事業関連に伴う更新工事	配水支管更新工事 新設工事 他事業関連に伴う更新工事
	基幹管路	基幹管路更新（配水管） 基幹管路更新（導送水管）	基幹管路更新（配水管） 基幹管路更新（導送水管）	基幹管路更新（配水管） 基幹管路更新（導送水管）

7 環境負荷低減への取組

(1) 建設工事における資源リサイクルの推進

現場発生土の再利用や再生材の利用を積極的に取り組んでいます。また、地球温暖化防止対策として、排出ガス対策型の建設機械を指定する等、環境に配慮した工事を実施しています。

(2) 省エネルギー対策の推進

平成28年度に整備した高崎第一調整池では、新たに省エネルギーポンプを導入し、公用車については環境に配慮した仕様の車両を購入しました。今後も、省エネルギー機器の導入について検証し、施設等更新時には積極的な採用に取り組んでいきます

また、庁舎管理及び業務においては、節電、節水等のエコ活動を通じ、電気、水道及び公用車のガソリン使用量を削減に努めました。引き続き、省エネルギー対策を推進していきます。

8 総合評価

中期経営計画に係る事業計画につきましては、概ね達成しました。

(1) 業務状況

- ・給水人口は計画値を約1%下回っているものの、有収水量は計画値を上回っています。
- ・平成28年度の有収率は、計画値を1.6%上回っており、要因としては漏水調査や管路の更新による漏水防止対策の効果が伺えます。

以上の結果、給水人口・給水量の減少に対し、水道水の供給精度は高水準を維持する等、概ね計画どおりに推移しています。

(2) 収益的収支

当期純利益は、計画値を大幅に上回る利益を計上しており、良好な業績であります。

(収益的収入)

- ・収益的収入のうち給水収益は、計画値を上回っており順調に推移しています。
- ・収益的収入のうち給水収益以外の収入は、計画値との差はあるものの、増減額としては計画値に影響を及ぼすものではありません。

以上の結果、収益的収入は、概ね計画値との乖離なく推移しています。

(収益的支出)

- ・収益的支出のうち給与費は、人数の増減はないものの人事異動や給与改定などの影響により増加しています。
- ・収益的支出のうち動力費、修繕費、一般管理費、支払利息等において、計画値を大きく下回る結果となりました。要因として、動力費はピーク時の使用電力量の抑制による電気料金の削減、一般管理費は業務の効率化による効果、支払利息は予定利率に比べ低い利率による借入れができたことなどが挙げられます。

以上の結果、収益的支出は計画値を大幅に下回り、利益の増加につながりました。

(3) 資本的収支

(資本的収入)

- ・資本的収入においては、各年度の予算編成における収支状況や内部留保資金の状況を考慮し、平成28年度の企業債借入れを計画値より5,000万円減額し、企業債残高の抑制を図りました。

(資本的支出)

- ・資本的支出のうち事務費は、事業の実施状況により年度間に差があるものの概ね計画どおりに推移しています。

- ・資本的支出のうち工事費は、金額ベースでは計画値を下回る結果であるが、各種事業は計画どおり実施しました。

以上の結果、資本的収支における不足額は計画値を下回り、また、収益的収支において計画以上の利益を計上していることから、順調な財政状況で推移しています。

(4) 利益剰余金

- ・収益的収支において計画以上の利益を計上していることから、計画値より5億円上回る額を確保できました。

(5) 業務指標

- ・給水収益に対する職員給与費を除く業務指標は、優位性の方向で推移しています。

9 計画達成状況の公表

(1) 公表時期 中間報告：平成29年12月中旬予定

 最終報告：平成32年9月予定

(2) 公表方法 焼津市水道事業ホームページ、市情報公開コーナーなど